

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 電気化学工業株式会社

コード番号 4061 URL <http://www.denka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉高 紳介

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 大町 徹夫

TEL 03-5290-5532

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	186,870	3.0	9,410	△10.2	9,412	△11.6	7,523	0.9
26年3月期第2四半期	181,387	10.5	10,478	6.9	10,652	26.1	7,453	41.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 9,230百万円 (△11.9%) 26年3月期第2四半期 10,476百万円 (163.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	16.38	—
26年3月期第2四半期	15.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	437,300	193,814	43.9	419.03
26年3月期	431,347	189,516	43.5	402.77

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 191,877百万円 26年3月期 187,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 記念配当2円00銭(創立100周年記念配当)

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	6.2	25,000	17.8	23,500	14.1	18,000	32.6	39.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	465,954,121 株	26年3月期	481,883,837 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	8,048,975 株	26年3月期	15,964,265 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	459,247,189 株	26年3月期2Q	469,168,410 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
平成27年3月期 第2四半期決算概要	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費増税前の駆け込み需要の反動減により個人消費や住宅建設が低迷したほか、輸出も横ばいが続くなど、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済環境のもと、当社グループは国内外での拡販や販売価格の是正およびコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は1,868億70百万円と前年同期に比べ54億82百万円(3.0%)の増収となりました。収益面では、原燃料や電力価格の上昇に対して販売価格への転嫁が遅れたほか、定期修繕の実施に伴う費用増や研究開発費の増加などがあり、営業利益は94億10百万円(前年同期比10億67百万円減、10.2%減益)、経常利益は94億12百万円(前年同期比12億39百万円減、11.6%減益)となりましたが、四半期純利益は、事業撤退に伴う固定資産売却益を特別利益に計上したことにより、75億23百万円(前年同期比69百万円増、0.9%増益)となりました。

#### <エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は840億52百万円と前年同期に比べ43億89百万円(5.5%)の増収となりました。

クロロプレングムの販売数量は概ね前年同期並みとなり、アセチレンブラックやデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等は販売数量が増加し増収となりましたが、スチレンモノマーは定期修繕を実施した影響により販売数量が減少し減収となりました。

#### <インフラ・無機材料部門>

当部門の売上高は232億62百万円と前年同期に比べ4億45百万円(1.9%)の減収となりました。

特殊混和材は販売数量が増加し増収となりましたが、肥料や耐火物は販売数量が減少し減収となりました。

#### <電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は234億62百万円と前年同期に比べ20億44百万円(9.5%)の増収となりました。

電子部品・半導体搬送資材用の機能フィルムやLED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”は販売数量が増加し増収となり、電子回路基板も電鉄向けを中心に販売数量が増加し増収となりました。

#### <生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は362億77百万円と前年同期に比べ1億43百万円(0.4%)の減収となりました。

プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が増加し増収となり、農業・土木用コルゲート管や合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は概ね前年同期並みとなりました。

医薬品では、関節機能改善剤(高分子ヒアルロン酸製剤)は薬価引き下げの影響により減収となり、デンカ生研株式会社の試薬の販売も前年同期を下回りました。

#### <その他部門>

当部門の売上高は198億15百万円と前年同期に比べ3億62百万円(1.8%)の減収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年同期並みとなりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ59億53百万円増加し4,373億円となりました。流動資産は、たな卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ74億円増加し1,721億47百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより前連結会計年度末に比べ14億47百万円減少し2,651億52百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ16億54百万円増加し2,434億85百万円となりました。

少数株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ42億98百万円増加し1,938億14百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.5%から43.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が4億90百万円減少し、利益剰余金が3億17百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,427	8,790
受取手形及び売掛金	83,701	84,767
商品及び製品	41,989	45,851
仕掛品	2,554	2,455
原材料及び貯蔵品	18,272	17,905
繰延税金資産	1,906	1,941
その他	8,201	10,709
貸倒引当金	△305	△274
流動資産合計	164,747	172,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,835	54,785
機械装置及び運搬具(純額)	80,815	76,893
工具、器具及び備品(純額)	2,612	2,467
土地	62,796	62,987
リース資産(純額)	338	344
建設仮勘定	11,384	9,924
有形固定資産合計	211,783	207,402
無形固定資産		
特許権	567	493
ソフトウェア	542	551
その他	189	189
無形固定資産合計	1,299	1,233
投資その他の資産		
投資有価証券	46,562	50,094
長期貸付金	821	785
繰延税金資産	1,039	992
その他	5,155	4,686
貸倒引当金	△61	△43
投資その他の資産合計	53,517	56,516
固定資産合計	266,599	265,152
資産合計	431,347	437,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,238	53,295
短期借入金	45,501	46,085
コマーシャル・ペーパー	10,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	4,504	14,508
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	3,927	2,815
未払消費税等	445	848
繰延税金負債	12	12
賞与引当金	2,428	2,589
その他	37,586	30,949
流動負債合計	163,645	170,105
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	30,663	25,539
繰延税金負債	3,478	4,806
再評価に係る繰延税金負債	9,609	9,609
退職給付に係る負債	8,531	7,531
その他	903	893
固定負債合計	78,185	73,380
負債合計	241,831	243,485
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	89,562	89,871
自己株式	△4,951	△2,630
株主資本合計	170,894	173,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,640	10,822
土地再評価差額金	9,065	9,065
為替換算調整勘定	479	△253
退職給付に係る調整累計額	△1,422	△1,281
その他の包括利益累計額合計	16,762	18,353
少数株主持分	1,858	1,937
純資産合計	189,516	193,814
負債純資産合計	431,347	437,300

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	181,387	186,870
売上原価	143,401	148,823
売上総利益	37,985	38,046
販売費及び一般管理費	27,507	28,635
営業利益	10,478	9,410
営業外収益		
受取利息	36	35
受取配当金	643	673
持分法による投資利益	385	74
為替差益	749	676
その他	278	176
営業外収益合計	2,094	1,637
営業外費用		
支払利息	526	480
固定資産処分損	279	394
操業休止等経費	400	249
その他	713	510
営業外費用合計	1,920	1,635
経常利益	10,652	9,412
特別利益		
固定資産売却益	—	1,204
特別利益合計	—	1,204
税金等調整前四半期純利益	10,652	10,617
法人税、住民税及び事業税	3,177	3,010
少数株主損益調整前四半期純利益	7,474	7,607
少数株主利益	20	84
四半期純利益	7,453	7,523



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,474	7,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,001	2,141
為替換算調整勘定	1,978	△741
退職給付に係る調整額	—	140
持分法適用会社に対する持分相当額	22	81
その他の包括利益合計	3,001	1,623
四半期包括利益	10,476	9,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,402	9,113
少数株主に係る四半期包括利益	74	116

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,652	10,617
減価償却費	10,876	11,416
負ののれん償却額	△5	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35	163
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△278	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△510
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△98	△46
受取利息及び受取配当金	△680	△709
支払利息	526	480
持分法による投資損益 (△は益)	△385	△74
固定資産除売却損益 (△は益)	86	△1,113
売上債権の増減額 (△は増加)	△941	△1,458
たな卸資産の増減額 (△は増加)	48	△3,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,994	△637
その他	828	△1,256
小計	12,669	13,156
利息及び配当金の受取額	752	861
利息の支払額	△569	△481
法人税等の支払額	△4,213	△4,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,638	9,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,119	△14,540
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△30	△99
投資有価証券の取得による支出	△225	△203
投資その他の資産の売却による収入	—	2,078
子会社株式の取得による支出	△250	△102
その他	△247	△831
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,873	△13,697
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,602	5,108
長期借入れによる収入	7,016	5,133
長期借入金の返済による支出	△4,524	△254
社債の発行による収入	15,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△3,007	△2,882
配当金の支払額	△2,374	△2,329
少数株主への配当金の支払額	△35	△38
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,678	4,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	175	△96
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,380	468
現金及び現金同等物の期首残高	10,680	8,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,299	8,712

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成26年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式の取得および消却を行っております。

(自己株式の取得)

当第2四半期連結累計期間において自己株式が28億82百万円増加しております。

(自己株式の消却)

平成26年5月14日に自己株式の消却を行い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が52億2百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が52億2百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	79,662	23,707	21,418	36,420	161,210	20,177	181,387	—	181,387
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	93	14	0	17	125	2,624	2,750	(2,750)	—
計	79,756	23,722	21,419	36,438	161,335	22,802	184,138	(2,750)	181,387
セグメント 利益	2,867	2,179	1,302	3,679	10,028	418	10,446	31	10,478

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	120,387	45,120	15,879	61,000	181,387
連結売上高に占める割合(%)	66.4	24.9	8.8	33.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	84,052	23,262	23,462	36,277	167,054	19,815	186,870	—	186,870
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	95	0	—	4	100	2,547	2,648	(2,648)	—
計	84,147	23,262	23,462	36,282	167,155	22,363	189,518	(2,648)	186,870
セグメント 利益	2,203	1,434	2,463	2,758	8,861	516	9,377	33	9,410

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額33百万円は、セグメント間取引消去によるものです。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	118,538	49,871	18,459	68,331	186,870
連結売上高に占める割合(%)	63.4	26.7	9.9	36.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 4. 補足情報

## 平成27年3月期 第2四半期決算概要

平成26年11月10日  
電気化学工業株式会社

## 1. 業績の概要

## 【総括】

・当第2四半期は、第1四半期比増益となりましたが、第2四半期累計では、原燃料や電気代等のコスト上昇に対する価格転嫁遅れや一時的なマイナス要因のほか、成長戦略の実施に伴う先行投資負担やその他の経費増加などを、電子・先端プロダクツの需要回復や円安メリットで補いきれず、当初予想には届きませんでした。

通期予想については、事業毎に需要の強弱等の違いはありますが、当初予想どおりの収益を見込んでおります。

## 【セグメント別状況】

・エラストマー・機能樹脂部門は、アセチレンブラックやスチレン系樹脂の販売数量が増加しましたが、スチレンモノマーの隔年定修や原燃料価格、電気代等のコストアップに対する価格転嫁の遅れなどにより、前年同期比で増収減益となりました。

第3四半期以降は定修負担もなくなり、スプレッドを確保することで、通期では当初予想を上回る収益を見込んでおります。

・インフラ・無機材料部門は、特殊混和材が数量を伸ばしましたが、肥料や耐火物の販売数量が減少し、前年同期比で減収減益となりました。第3四半期以降は特殊混和材のほかセメント等も出荷増となるものの、通期では当初予想を下回る収益となる見込みです。

・電子・先端プロダクツ部門は、全般的な需要の回復を受け、機能フィルムや蛍光体、電子回路基板の販売が増加し、前年同期比で増収増益となりました。第3四半期以降もこれらの製品の好調が続くことにより、通期では当初予想を上回る収益を見込んでおります。

・生活・環境プロダクツ部門は、健康分野製品の関節機能改善剤や試薬が一時的な要因で減収となるなど、前年同期比で減収減益となりましたが、第3四半期以降はインフルエンザ関連製品の需要期となり、通期では当初予想どおりの収益を見込んでおります。

## 【業績】

(単位:億円)

	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	増 減
売上高	1,869	1,814	55
営業利益	94	105	△ 11
経常利益	94	107	△ 12
当期純利益	75	75	1

平成27年3月期 年度予想 (4-3月)	平成26年3月期 年度実績 (4-3月)
4,000	3,768
250	212
235	206
180	136

## 2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	841	797	44
	営業利益	22	29	△ 7
インフラ・ 無機材料	売上高	233	237	△ 4
	営業利益	14	22	△ 7
電子・先端 プロダクツ	売上高	235	214	20
	営業利益	25	13	12
生活・環境 プロダクツ	売上高	363	364	△ 1
	営業利益	28	37	△ 9
その他	売上高	198	202	△ 4
	営業利益	5	4	1
消去差	売上高	-	-	-
	営業利益	0	0	0
合計	売上高	1,869	1,814	55
	営業利益	94	105	△ 11

平成27年3月期 年度予想 (4-3月)	平成26年3月期 年度実績 (4-3月)
1,740	1,665
45	40
500	496
35	40
500	421
55	27
840	780
105	95
420	406
10	10
-	-
-	1
4,000	3,768
250	212

## 3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)			平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)		増 減	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)		平成26年3月期 年度実績 (4-3月)	
	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)	平成26年3月期 年度実績 (4-3月)					
設備投資額	80	103	△ 23	280	257					
減価償却費	114	109	5	230	223					
研究開発費	56	55	2	114	108					
有利子負債残高	1,301	1,275	26	1,250	1,207					

	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)			平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)		増 減	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)		平成26年3月期 年度実績 (4-3月)	
	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)	平成26年3月期 年度実績 (4-3月)					
為替レート [円/\$]	103.0	98.9		104.0	100.2					
国産ナフサ [円/kl]	70,350	64,950		67,000	67,300					

## 4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	販売価格差	数量差
	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)			
エラストマー・機能樹脂	841	797	44	32	12
インフラ・無機材料	233	237	△ 4	2	△ 6
電子・先端プロダクツ	235	214	20	△ 3	23
生活・環境プロダクツ	363	364	△ 1	2	△ 3
そ の 他	198	202	△ 4	-	△ 4
合 計	1,869	1,814	55	33	22

## 5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
	平成27年3月期 第2四半期実績 (4-9月)	平成26年3月期 第2四半期実績 (4-9月)				
エラストマー・機能樹脂	22	29	△ 7	32	2	△ 41
インフラ・無機材料	14	22	△ 7	2	△ 2	△ 7
電子・先端プロダクツ	25	13	12	△ 3	23	△ 9
生活・環境プロダクツ	28	37	△ 9	2	△ 4	△ 8
そ の 他	5	4	1	-	1	△ 0
消 去 差	0	0	0	-	-	0
合 計	94	105	△ 11	33	21	△ 65